



# Book Review

## 15 ステップで使いこなそう 歯科用 CT の完全活用

新井嘉則・谷本英之 著

歯科インプラントの急速な拡大に伴い、CT による三次元的診断は必要不可欠なものとなつつある。1990 年代には医科用 CT 機器に歯科用ソフトを適用して診断に役立て始めたが、詳細な顎骨の情報を把握するためには十分とはいえず、さらに診断被曝のリスクを勘案すると特殊症例に対してのみ行われるもので、一般歯科臨床に根付くものではなかった。

しかし、新井先生の開発された歯科用 CT (CBCT) の使用により、きわめて精密な画像が低被曝で得られるため、患者さんに優しい検査を行うことが可能となった。インプラントに関連する診断はもちろんのこと、いや、それ以上に歯および周囲組織の診断にきわめて高い効力を毎日発揮しており、個人的にはなくてはならない診断機器になっている。開業してから約 20 年が経過し、さまざまな歯科機器を購入してきてきたが、最も高価な機器であるにもかかわらず 3DX だけは誰にでも購入して使用することを心から勧めたいという気持ちは日増しに強くなっている。

使用当初は、撮影された画像を長い時間かけて、さらにリサイズを繰り返して観察し、そして解剖学の本や顎骨、歯牙模

型を見つつ、読像したことを思い出す。約 6 年間毎日使用しており、最近では読像にも前ほど時間をかけなくなったが、本書を読み進め、実際に添付されたペーパーフィギュアや DVD をドリル形式で進めるうちに、個人流の理解を改めることもしばしばであった。

本書は一般によくある理論だけを紹介したものでもなく、また使用説明書のような類でもない。書名が表すとおり、15 のステップにわかれ、1~13 が CT の基礎知識の解説、14 がハサミで切って組み立てるペーパーフィギュア、15 が盛りだくさんの付録 DVD-ROM となっている。ステップ 0 の「本書の使い方」を最初に読み、ステップ 1 から 15 まで進むことで、CT を使用するために知っておかなければならないことを自然に身につけさせてもらえる一冊である。本来、三次元の組織を把握するためには三次元の診断機器が必要であることは間違いないが、日常的には二次元的な観察を行っていることが多い。歯科用 CT も診断したいところを的確に見るためには訓練が必要であり、系統的な講義を受けることができない臨床医としては本書がきわめて役に立つ。言い換えると、CT を購入し、使用す



A4 判, 122 頁  
定価 7,875 円  
(本体 7,500 円 + 税 5%)  
医歯薬出版刊

ればそれだけで的確な診断ができるわけではなく、かえって危ない道具をもっていることを忘れて、ただただ振り回して患者さんを傷つけることにもなりかねない。

診断被曝という患者さんに対してリスクを背負わせる診断機器であるがゆえに、その必要性を十分に理解し、必要最小限の使用にとどめ、さらに撮影した画像を最大限活用するためには機器の有する特徴を理解しなければならないことを改めて認識させられた書籍であった。ドリル形式での理解が興味深いものであるために、是非、本書を購入して実際に体得をしていただきたい。

武田孝之  
(東京都千代田区・武田歯科医院)